

# ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

78号  
2022  
1.7

## 京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町  
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142  
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

あけましておめでとうございます！

2022年もよろしくお願いたします！

2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中！ (植物園会館売店および各門にて)

← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました！ 見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました！ 動画で園内の様子を紹介しています。 →



### バラ剪定講習会

○1月8日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)  
「ツルバラの剪定について」(講演と実演)  
※場所: 植物園会館2階研修室・ばら園  
※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)  
※ばら園で実技があります。※定員: 先着60名

### 第11回 新春を彩る

#### 寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

○期間: 1月10日(月祝)~1月30日(日)  
○会場: 北山門周辺 ~壁掛け型ハンギングバスケット&寄せ植え!  
【ハンギングバスケット体験教室】\*会場にて  
\*日程: 1/15(土)、16(日)、22(土)、23(日)、29(土)  
\*時間: 10:00~14:00随時受付  
\*材料費: 2,000円(別途入園料)

### バラ剪定講習会

○1月22日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)  
「四季咲きバラの剪定について」(講演と実演)  
※場所: 植物園会館2階研修室・ばら園  
※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)  
※ばら園で実技があります。※定員: 先着60名

### 「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドのご案内!

毎週水曜日は・・・  
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

### 「副園長のほっこりガイド」

1月23日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!  
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

### スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

### 第30回 洋ラン展

○期間: 2月4日(金)~2月13日(日)  
○場所: 観覧温室(特別展示室)  
○内容: 洋ラン約200鉢を展示!(販売あり)

### 洋ラン展関連 講習会 募集中!!

2/5(土) 13:30~14:30  
2/7(月) (午前の部) 10:30~11:30  
(午後の部) 13:30~14:30

★ランを使ったアレンジメント ★定員: 各回10名  
★参加費: 1,500円(別途、入園料、入室料が必要)  
★事前申込: 往復ハガキに講習会名、受講希望の日・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切: 2/2(水) ★会場: 観覧温室 特別展示室

### 洋ラン展関連 講習会 募集中!!

2/6(日) (午前の部) 10:30~11:30  
(午後の部) 13:30~14:30

★カタセツム他の栽培について ★定員: 各回8名  
★参加費: 2,000円(別途、入園料、入室料が必要)  
★事前申込: 往復ハガキに講習会名、受講希望の部、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切: 1/27(木) ★会場: 観覧温室 特別展示室

### 「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・  
植物園会館前集合: 午後1時スタート!

### 「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~  
① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象  
② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)  
③ ガイドは1時間程度。(無料)  
\*申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

### 植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時  
■ 電話075-701-0141

### ※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!  
大人1000円 高校生750円  
・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。  
※温室観覧料は別途必要となります。

### 植物園HP!



今週の「探して！」  
2022. 1. 7  
78号

### ⑫ カクチョウラン

ラン科。沖縄列島、東南アジアなどに分布。地面に根を下ろして生育する地生種。漢字では「鶴頂蘭」と書き、咲いた花の姿を鶴に見立て名が付いた。1mを越す長い花茎をまっすぐ上に伸ばして幅10cmほどの花を複数咲かせる。

### ⑪ ウンナンロウバイ

ロウバイ科。中国の雲南省が原産。花の少ないこの季節に咲くことからギリシャ語で「冬の花」という意味があり、属名のChimonanthusの由来。ロウ細工のような花弁は薄く半透明で、基本種のロウバイに比べて白っぽいところが大きな違い。

### ⑩ シークワーサー

ミカン科。琉球諸島及び台湾に自生。沖縄方言で「シー」は「酸、酢」「クワーサー」は「食わせるもの、加える」を表し、合わせると「酸を食わせるもの、酸を加える」を表す。別名は果実の形から「ヒラミレモン（平実レモン）」と呼ばれている。

### ⑨ ハボタン

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。ハボタンはその中のケールを觀賞用に改良したもの。

### ① ヤマコウバン

クスノキ科。日本、中国などに分布。葉をもむとショウガに似た香りがすることから「山の香ばしい木」という意味の名が付いた。枯れ葉が「落ちない」その特徴から受験生に御利益があるとされ、植栽されている半木神社は隠れたお参りスポット。

### ② ビオラ

スミレ科。ヨーロッパに自生する野生種から育種され、かつては大輪のものをパンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していた。しかし、現在は複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別しにくくなっている。

### ③ トキワマユミ

ニシキギ科。日本、朝鮮半島に分布。マユミが落葉樹で果実の色が淡紅色であるのに対して、本種は常緑樹で果皮の色はオレンジ色である。漢字では「常緑真弓」と書き、本種が常緑であること(=常磐)が名前の由来となっている。

### ④ クサントロエア・ジョンソニー

ワスレグサ科。オーストラリア東部が原産。クサントロエア属の中では大きく、5mの高さに生長することもある。生長は非常に遅く、1年に幹が1cmしか伸びない。山火事に強く、焼け焦げた幹の先から、針のような長い葉を再生する。

### ⑤ ジャノメリカ

ツツジ科。南アフリカ原産。釣り鐘のような形をした小さな桃色の花を咲かせ、その中心部から飛び出た黒いやくがよく目立つ。その外観が「蛇の目」の模様に見えることが和名の由来。細かい枝をたくさん分枝させる特性がある。

### ⑥ マンリョウ(万両)

サクラソウ科。関東以西の本州、四国、九州、沖縄などに分布。縁起の良い名前から正月飾りに使われることで知られる。古典園芸植物の一つで、江戸時代には葉が縮れたりした変異個体が選ばれて、多様な品種群が栽培された。

### ⑧ ナルキッサス・カンタブリクス

ヒガンバナ科。スペイン南部、北アフリカに分布。冬に白いかわいい花を咲かせる小型のスイセンの仲間、清楚な美しさが人気。特徴は漏斗状の副花冠が発達していること。開花時期は、通常12~3月。花の少ない冬の花壇を彩る。

### ⑦ ジャマイカポインセチア

トウダイグサ科。ジャマイカ、キューバ等のカリブ海沿岸原産。小花は6個程度の黄色くて丸い密腺と緑色の子房から構成されている。小花の根元の赤い花弁のような部分は苞葉で花粉媒介者を効率的に呼び寄せる役割を果たしている。

